

## リスク管理態勢【共通】(日米英対応)

金融検査マニュアル		CAMELS(米国)	ARROW(英国)
項目	リスク管理態勢のチェック項目		
I. リスク管理に対する認識等 1. 取締役の認識及び取締役会等の役割	(1) 代表取締役のリスクに対する理解	(M)取締役会や経営陣における業務全般についての監督及び支援の水準と質	40 コーポレート ガバナンス
	(2) 業務執行の意思決定及び取締役に対する監督機関としての取締役会の機能	(M)重要な活動のオペレーションやリスクに関する内部方針や統制の整合性および妥当性	
	(3) 取締役会議事録等の整備	(M)取締役会や経営陣における業務全般についての監督及び支援の水準と質	
	(4) 経営方針の確立	(M)重要な活動のオペレーションやリスクに関する内部方針や統制の整合性および妥当性 (M)深くかつ連続した経営	1 経営戦略の質
	(5) 金融機関全体の経営方針等に沿った戦略目標の明確化	(M)重要な活動のオペレーションやリスクに関する内部方針や統制の整合性および妥当性	2 ビジネス特性
	(6) 取締役のリスク管理の理解及び認識	(M)取締役会や経営陣における業務全般についての監督及び支援の水準と質	42 管理の質
	(7) リスク管理の方針の確立	(M)重要な活動のオペレーションやリスクに関する内部方針や統制の整合性および妥当性	27 リスク管理
	(8) リスク管理のための組織の整備	(M)取締役会や経営陣における業務全般についての監督及び支援の水準と質 (M)経営状況の変化や新規業務、新商品の導入により生じる諸リスクへの対応及び企画立案に係る取締役会や経営陣の能力	28 方針、手順、制御
	(9) 取締役会等に対するリスク状況の報告と組織全体の意思決定への活用	(M)組織の規模、複雑性、リスク特性に見合った経営情報やリスクモニタリングの正確性、適時性、実行性	29 経営情報
	(10) 適切なリスク管理を行うための人材育成、配置等に係る方針の確立	(M)組織の規模、複雑性、リスク特性に見合った経営情報やリスクモニタリングの正確性、適時性、実行性	43 人的資源
	(11) 監査役会等の機能発揮	(M)取締役会や経営陣が支配的勢力や権限の集中から影響を受ける、又は受けやすさの程度	33 内部監査

## リスク管理態勢【共通】(日米英対応)

金融検査マニュアル		CAMELS(米国)	ARROW(英国)
項目	リスク管理態勢のチェック項目		
2. 管理者の認識及び役割	(1) 管理者のリスク管理の理解及び認識	(M)組織の規模、複雑性、リスク特性に見合った経営情報やリスクモニタリングの正確性、適時性、実行性	27 リスク管理 28 方針、手順、制御
	(2) リスク管理のための規定の整備		
	(3) リスク管理のための組織の整備		
	(4) リスク管理の適切な実行		43 人的資源
	(5) リスク管理を行うための適切な人員配置		
	(6) 人材育成のための研修体制の整備		
	(7) 事故防止のための人事管理		
	(M)法令等遵守		
3. 企業風土の醸成	リスク管理重視の企業風土の醸成	(M)組織としての総合的なパフォーマンスおよびリスク特性	17 職員の俸給基準 44 監督当局との関係 45 文化的テーマおよびビジネス倫理
II. 適切なリスク管理態勢の確立 1. リスクの認識と評価	管理すべきリスクの所在及び種類の特定	(M)経営状況の変化や新規業務、新商品の導入により生じる諸リスクへの対応及び企画立案に係る取締役会や経営陣の能力	
2. 管理業務	(1) リスク管理の手法及び規定の適切性	(M)効率的なオペレーション、信頼できる財政や規制上の報告、セーフガードアセット、法令等遵守を図るための監査と内部管理及び法令等遵守を図るための監査および内部統制の妥当性	28 方針、手順、制御
	(2) 各業務部門における規定の整備及び見直し		
	(3) 総合的なリスク管理	(M)組織としての総合的なパフォーマンスおよびリスク特性	
3. 職責の分離	相互牽制体制の構築	(M)取締役会や経営陣が支配的勢力や権限の集中から影響を受ける、又は受けやすさの程度 (M)補填方針と自己取引の回避	
4. 情報伝達	(1) リスク管理部門の取締役会等に対する報告	(M)取締役会や経営陣における業務全般についての監督及び支援の水準と質	29 経営情報
	(2) 取締役会等に対する報告の内容		
	(3) 情報システム等の整備	(M)組織の規模、複雑性、リスク特性に見合った経営情報やリスクモニタリングの正確性、適時性、実行性	

## リスク管理態勢【共通】(日米英対応)

金融検査マニュアル		CAMELS(米国)	ARROW(英国)
項目	リスク管理態勢のチェック項目		
III. 内部監査 1. 代表取締役及び取締役会の内部監査に対する認識及び方針等	(1) 内部監査の重要性の認識	(M)効率的なオペレーション、信頼できる財政や規制上の報告、セーフガードアセット、法令等遵守を図るための監査と内部管理及び法令等遵守を図るため監査および内部統制の妥当性	33 内部監査
	(2) 内部監査機能を果たすための組織構造の構築		
	(3) 内部監査部門の管理		
2. 内部監査の独立性	(1) 内部監査部門の独立性	(M)取締役会や経営陣が支配的勢力や権限の集中から影響を受ける、又は受けやすさの程度	
	(2) 内部監査部門の権限及び責任の範囲等		
	(3) 情報等の入手体制の整備		
3. 内部監査の従事者の専門性	内部監査の従事者の専門性		
4. 内部監査規程等	内部監査規程等	(M)効率的なオペレーション、信頼できる財政や規制上の報告、セーフガードアセット、法令等遵守を図るための監査と内部管理及び法令等遵守を図るため監査および内部統制の妥当性	
5. 内部監査計画	内部監査計画		
6. 内部監査の実施	内部監査の実施		
7. 内部監査結果の報告及び問題点の是正	(1) 内部監査結果等の報告	(M)監査人や監督当局からの勧告に対する対応	
	(2) 問題点の是正		
IV. 外部監査	(1) 会計監査人等による外部監査の実施	(M)取締役会や経営陣における業務全般についての監督及び支援の水準と質	35 25 プロフェッショナル アドバイザー 会計監査/グループ構成の管轄/特質
	(2) 会計監査人等の外部監査人と内部監査部門との関係		
	(3) 問題点の是正	(M)監査人や監督当局からの勧告に対する対応	
	前回当局検査指摘事項の改善状況等		44 監督当局との関係